

植物

種名	マイヅルテンナンショウ (<i>Arisaema heterophyllum</i> Blume)
指定の理由	県内では、1911年以降記録がなかったが、最近、県内3箇所において生育が確認された。園芸のための採取等により絶滅のおそれがある。
形態	低地の草地や林縁などに生える多年草。高さ50～100cm。球茎に子球をつける。偽茎は円柱形。葉は1個で鳥足状に17～21枚の小葉をつける。小葉は狭倒卵形または線形で全縁。先端の小葉は著しく小形である。仏炎苞はに緑色でやや紫色を帯びる。肉穂上部の付属体は緑色の鞭のような形をしていて、筒内から高く出て直立する。
生息分布状況	高知県内では3箇所で河川敷の林縁などに生育する。
種の存続を脅かす要因	園芸採取等
保護に関する指針	県内全域において知事の許可を受けた場合以外は、当該種の採取等を禁止するものとする。
高知県レッドデータブック掲載状況	EX(絶滅) / 高知県レッドリスト2010改訂版: VU(絶滅危惧Ⅱ類)
高知県希少野生動植物保護基本方針該当項目	<ul style="list-style-type: none"> ・種の存続に支障をきたす程度の個体数の減少 ・生育地の環境が著しく悪化若しくは消滅しつつある種 ・商品価値や希少性の高さから個体維持に支障を来す採取対象種



写真提供: 高知県立牧野植物園